USB ハードディスク

HD-HSU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク
D:CD-ROM ドライブ

・文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・本書では、Micrsoft Windows Millennium Edition を WindowsMe、Windows98 Second Edition を Windows98SE と表記しています。

目次

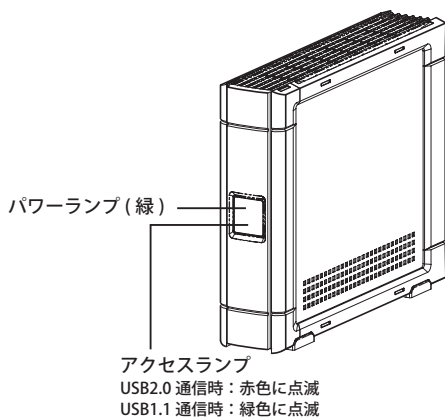
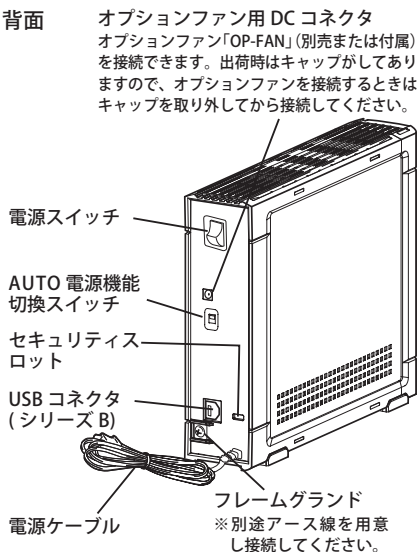
1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

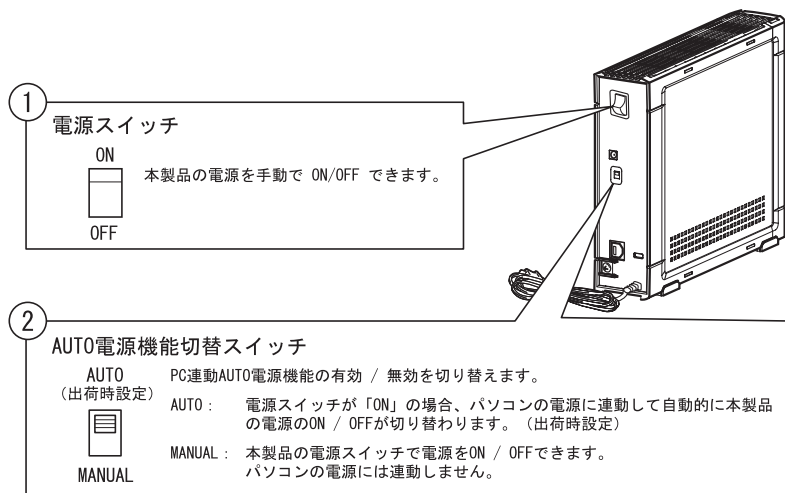
特長

- **7200 回転のハードディスクを搭載**
- **USB ポート（シリーズ A）に接続可能**
  パソコンや USB ハブの USB ポート（シリーズ A）に接続できます。
  ※ USB ポートが装備されていないパソコンを使用している場合は、別売の弊社製 USB ボードを使用してください。
- **プラグ＆プレイ、ホットプラグに対応**
  本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。
  ※ ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。
  【P10「本製品の取り外しかた」】
- **本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード（※）で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。**
  ※最大転送速度 480Mbps（理論値）
- **本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません（OS を起動できません）。あらかじめご了承ください。**

各部の名称

- **前面**

- **背面**

付属品は、本製品を梱包していた箱に記載されています。

電源の ON/OFF

本製品の電源は、「PC 連動 AUTO 電源機能 」によってパソコン本体の電源 ON/OFF に合わせて自動で ON/OFF することも、手動で ON/OFF することもできます。
出荷時は、PC 連動 AUTO 電源機能が有効になっています。

⚠注意 「PC 連動 AUTO 電源機能 」使用時の注意

- **「AUTO」でお使いの場合、お使いの環境によっては正常に認識しないことやパソコンの電源に連動しないとがあります。この場合は MANUA L にしてお使いください。**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品の電源ランプが消えるまでに少し時間がかかることがあります。**
- **AC アダプタ付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品の電源ランプが消えないことがあります。本製品の電源スイッチを OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。**

2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順

セットアップ手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

● Windows2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

●本製品のドライバがインストールされると、［デバイス マネージャ］（※）に次のデバイスが追加されます。

※［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。

Windows Vista .... ［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［OK」をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

WindowsXP/Server 2003 .... ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

Windows2000 .... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows Vista	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
Windows XP/2000/Server 2003	ディスクドライブ	ドライブユニット名　USB Device
	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

Macintosh でのセットアップ手順

以下の手順で本製品をパソコンに接続してください。

⚠注意 **・別紙「はじめにお読みください」も参照してください。**
・本製品を横置きで使用される場合は、あらかじめゴム足を取り付けておいてください。

1 本製品とパソコンの電源スイッチを ON にします。

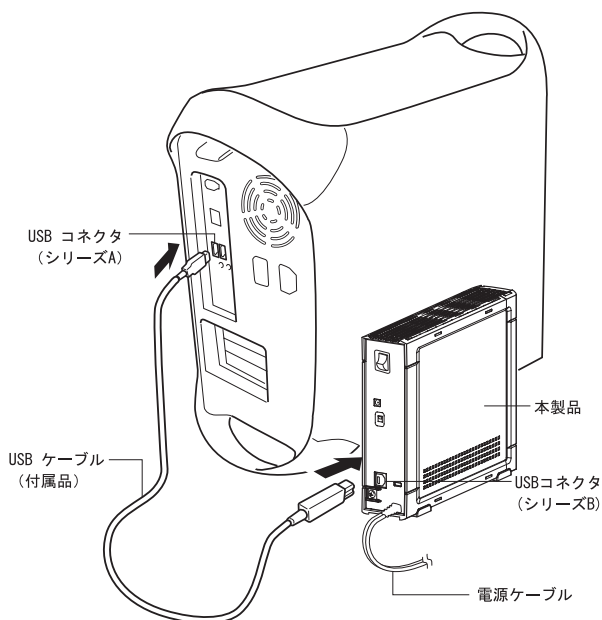
2 付属の USB ケーブルを本製品の USB コネクタに接続します。

USB ケーブルの 2 つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

< USB ケーブルのコネクタ形状>

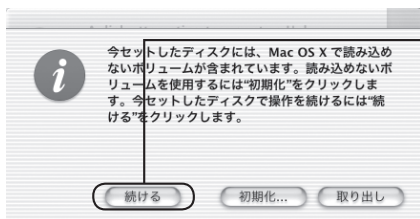
シリーズ A
（パソコン側に接続）

シリーズ B
（本製品に接続）

3 パソコンの USB コネクタ（シリーズ A）に USB ケーブルを接続します。

次のページへ続く

以下の画面が表示されたら？

本製品を接続すると、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、以下の手順を行ってください。

1

［続ける］をクリックします。

※ お使いのパソコンによって、少し画面が異なることがあります。

2 メッセージが消えたら、MacOS を再起動します。

以上で本製品の接続は完了です。

⚠注意 **Mac OS X 10.3 以前をお使いの場合は、続いて Mac OS 拡張形式で本製品を初期化してください。【P17、18】**

Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合、そのまま使用できますが、4GB 以上のファイルは保存できません。また、Mac OS X 10.3 以前の Mac OS では使用できません。Macintosh のみで使用される場合は、本製品を Mac OS 拡張形式で初期化することをお勧めします。【P17、18】

メモ 正常に接続されていれば、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。本製品のアイコンが追加されない場合は、以下のことを確認してください。

・本製品の電源が ON になっているか。
・USB ケーブルや電源ケーブルは正しく接続されているか。

3 使いかた

使用上の注意

⚠注意 **・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対に USB ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
・パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

● PC 連動 AUTO 電源機能について
・PC 連動 AUTO 電源機能を使用すると、パソコンの電源に連動して本製品の電源が ON になります。【P4】
・本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USB からの電源供給だけでは、本製品を使用できません。
・パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
・AC アダプタ付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品のパワーランプが消えないことがあります。そのときは、本製品の電源を OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。

● Mac OS X 10.3 以前をご使用の方は、本製品を使用する前に必ず初期化してください。Mac OS X 10.4 以降をお使いの方も初期化することをお勧めします。【P17、18】

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも USB ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P10「本製品の取り外しかた」】

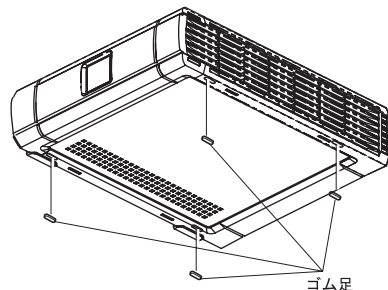
⚠注意 **本製品にアクセスしているとき（アクセスランプが点灯 / 点滅しているとき）は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。**

● 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品から OS を起動することはできません。

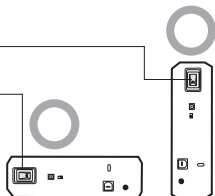
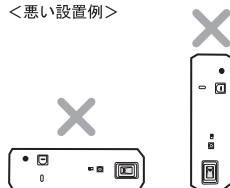
● 本製品を横置きにする場合
付属のゴム足（4 個）を本製品の底面の四隅に貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意 **・右図のとおりにゴム足を取り付けてください。**
・本製品を積み重ねるときは、必ず別売または付属のオプションファン「OP-FAN」を取り付けてください。

次のページへ続く

本製品の発熱について

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC 連動 AUTO 電源機能を使用しているときは、電源が OFF の状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項を必ずお守りください。

- **本製品にオプションファン「OP-FAN」が付属している場合は、必ず取り付けてください。**
- **本製品を積み重ねて使用するときは、必ず別売または付属のオプションファン「OP-FAN」を本製品に取り付けてください。**
- **本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。**
- **本製品に布などをかぶせないでください。**

● 本製品は次のように設置してください（図は背面から見たところです）。

⚠注意 動作中に本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。

● 本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。

● WindowsXP 搭載のパソコンで使用する場合
本製品を USB1.1 準拠の USB コネクタに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

● FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。Windows や MacOS をお使いの場合には、NTFS 形式や MacOS 拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● Macintosh でリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできないことがあります。

● 本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチが ON のときは、次の手順で本製品を取り外します。

メモ **パソコンの電源スイッチが OFF の時は、そのまま取り外せます。**

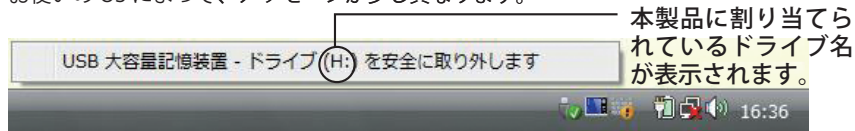
Windows

> **省電力ユーティリティ for HD をインストールされた場合は、省電力ユーティリティのマニュアルに記載の手順で取り外してください。**
> 省電力ユーティリティのマニュアルは、簡単セットアップ（付属の CD をパソコンにセットしたときに表示されるメニュー）から表示できます。省電力ユーティリティがインストールされている場合に以下の手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり、省電力状態にできないことがあります。

注意 **省電力ユーティリティ for HD をインストールしていないときは、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows Vista の画面を使用しています。**
NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

1 **タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコン (Windows Vista）/ （Windows XP）/ （Windows 2000）をクリックします。**

2 **メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置（デバイス） - ドライブ（X:）を停止します] をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
お使いの OS によって、メッセージが少し異なります。

注意 **TurboUSB を有効にしているときは、メニューに「高速化中」と表示されます。**

3 **[USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。] と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。**

メモ Windows XP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

Macintosh

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク（本製品）のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 本製品を取り外します。

3

使いかた

4 フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

ご注意

● **Windows をお使いの場合は NTFS 形式、Macintosh をお使いの場合は Mac OS 拡張形式でフォーマット（初期化）することをお勧めします。**

本製品は、出荷時に FAT32 形式でフォーマットされています。Windows や Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合、そのままお使いいただくこともできますが、4GB 以上のファイルを保存できません。Windows と Mac OS X 10.4 以降で併用する場合にのみ、FAT32 形式でお使いください。

Mac OS X 10.3 以前をお使いの場合は、FAT32 形式（出荷時状態）で使用できません。必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**

ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**

ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

フォーマットのしかた

使用している OS に応じて、次のページを参照してください。

- Windows ･･････････････【P13】
- Mac OS X 10.2.7 ～ 10.2.8 ･････････････････【P17】
- Mac OS X 10.3 以降 ･････････････････････・・【P18】

次のページへ続く

Windows をお使いの場合

フォーマットするときは、以下の手順で行ってください。

⚠注意 **・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。

・ここでは、NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。FAT32 形式でフォーマットするときは、付属の DiskFormatter でフォーマットしてください。詳しい手順は、DiskFormatter のマニュアル（PDF ファイル）を参照してください。

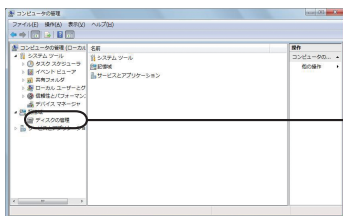
1　パソコンを起動し､コンピュータの管理者権限 (Administrator など) があるユーザーでログオンします。

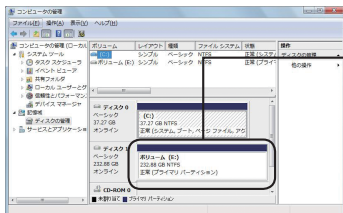
2　［スタート］をクリックし、［コンピュータ］を右クリックし、［管理］をクリックします。

以下の画面が表示されたら？

Windows Vista の場合、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、［続行］をクリックしてください。

［続行］をクリックします。

3

［ディスクの管理］をクリックします。

4

本製品に割り当てられているドライブを確認します。

※ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

⚠注意 **本製品に割り当てられたドライブが「未割り当て」と表示されている場合は、手順 8 へ進んでください。**

次のページへ続く

5

① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

②［ボリュームの削除］をクリックします。

6

［はい］をクリックします。

7

未割り当て領域が表示されます。

8

① 未割り当て領域を右クリックします。

②［新しいシンプルボリューム］（Windows XP の場合は［新しいパーティション］、Windows 2000 の場合は［パーティションの作成］）をクリックします。

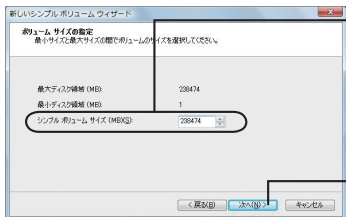
9

［次へ］をクリックします。

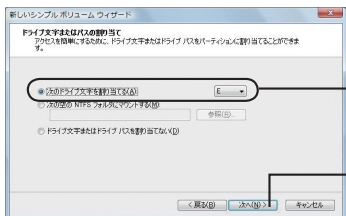
以下の画面が表示されたときは？

①［プライマリ パーティション］をクリックして（・）を付けます。

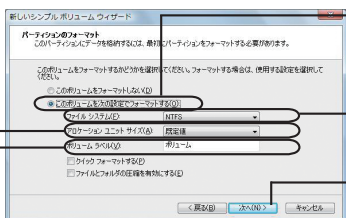
②［次へ］をクリックします。

10

①［シンプルボリューム サイズ］（［パーティションサイズ］または［使用するディスク領域］）でサイズを指定します。
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

②［次へ］をクリックします。

11

①［次のドライブ文字を割り当てる］をクリックし、ドライブ文字を指定します。
※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

②［次へ］をクリックします。

12

①［このボリューム（パーティション）を次（以下）の設定でフォーマットする］をクリックし、（・）を付けます。

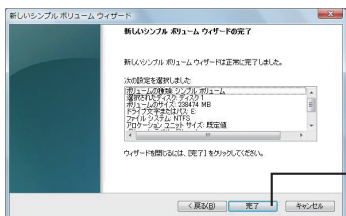
②［NTFS］を選択します。

③ 各項目を設定したら、［次へ］をクリックします。

必要に応じて［ボリュームラベル］を入力します。

［アロケーションユニットサイズ］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

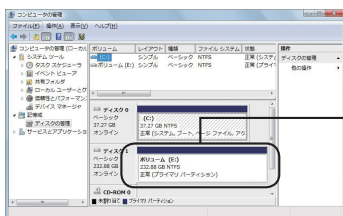
⚠注意 **本製品にパーティションが 1 つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。**

13

［完了］をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止］をクリックします。

次のページへ続く

14

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1. 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。
2. 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[OK］をクリックします。

   ⚠注意 **［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。**
3. 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順10でサイズを指定し、以下手順14までを作成する数だけ繰り返します。

Mac OS X 10.2.7 ～ 10.2.8

Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

3 **［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。**

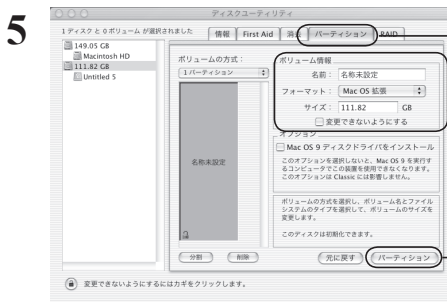
4 Mac OS X 10.2 以降の画面

①フォーマットするディスクをクリックします。

②[情報] をクリックします。

③フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

※画面は Mac OS X 10.2 の例です。

5

① ［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張] を選択してください。

③ ［パーティション］をクリックします。

※ **設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。**
また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

6 **「（略）この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか？」と表示されたら、[パーティション] をクリックします。**

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

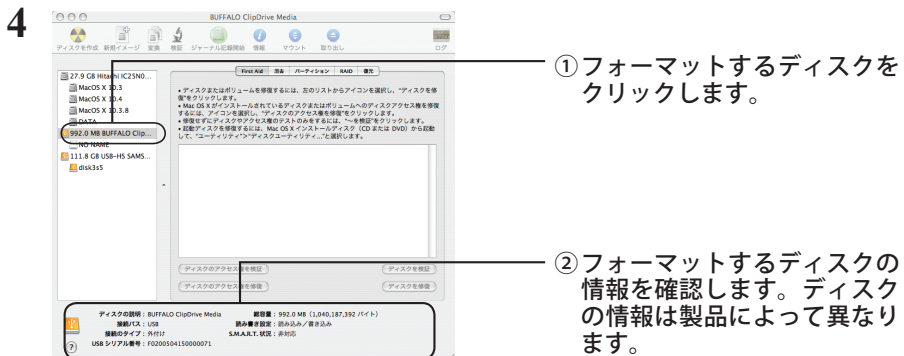
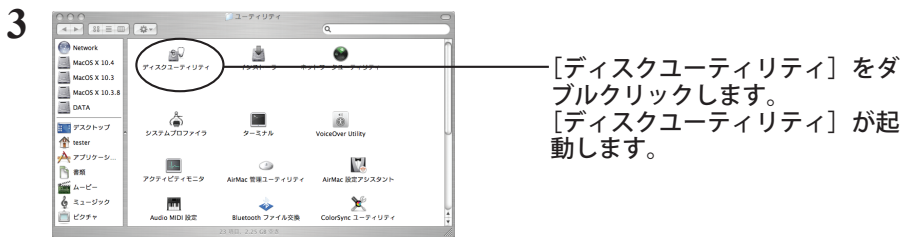
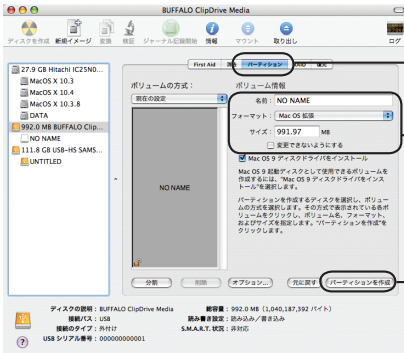
Mac OS X 10.3 以降

Mac OS X のディスクユーティリティを使って本製品をフォーマットするときの手順を説明します。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**
- **詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**
- **本書では、Mac OS X 10.4 の画面を例に説明しています。**

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

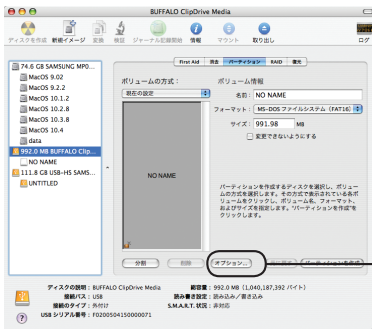
5

① ［パーティション］をクリックします。

② ボリューム情報を設定します。フォーマットは通常、［Mac OS 拡張］を選択してください。

③ ［パーティションを作成］をクリックします。

ボリューム情報を設定できないときは？（Mac OS X 10.4 以降のみ）

以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

1

2

［オプション］をクリックします。

① ［Apple パーティション方式］を選択します。

② ［OK］をクリックします。

6

［パーティション］をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。**

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- DVD-R/RW
- DVD+R/RW
- DVD-RAM
- CD-R/RW
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバ

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には､ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- **エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Macintosh には、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。**

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを､最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると､ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
- **最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Macintosh には、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。**

5

付録

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

<table>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td>USB</td></tr>
<tr><td colspan="2">準拠規格</td><td>USB Specification Rev2.0</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td>USB シリーズ B コネクタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">セクタ容量</td><td>512Bytes</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークタイム</td><td>最大 11msec</td></tr>
<tr><td colspan="2">転送速度</td><td>最大 480Mbps（※ 1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">出荷時フォーマット形式</td><td>FAT32(1 パーティション)</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>45(W) × 163(H) × 200(D)mm（突起物含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>最大 25W、平均 17W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>AC100V、50/60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td>5 ～ 35℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td>20 ～ 80%(結露なきこと)</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応機種</td><td>USB コネクタを標準搭載する次のパソコン
・DOS/V 機（OADG 仕様）
・Apple 製 Macintosh
弊社製 USB ボード (別売) を搭載した次のパソコン
・DOS/V 機（OADG 仕様）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応 OS</td><td>DOS/V 機</td><td>Windows Vista/XP（Media Center Edition を 含 む ）/2000/Server2003</td></tr>
<tr><td>Macintosh</td><td>Mac OS X 10.2.7 以降</td></tr>
</table>

※ 1　本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps）で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。